

# 出張講義

## 環境

“To be, or not to be: that is the question.”  
: 災害時あなたは何を決断しますか？

担当教員: 大門 大朗 准教授

避難訓練をしてきた。防災バックを準備した。事前の備えはバッチリだ……ですが、災害は、数学の問題や、共通テストのように、必ずしも一つの「正解」があるわけではありません。むしろ、災害時に一番大切なのは、臨機応変にその場で成立する答え—いわば「成解」—の方が重要であることが多いこともわかっています。

この授業では、水害やコロナ禍まで、災害時・防災の中で生まれる決断の側面に光を当て、「クロスロード」というカードゲームを用いて、防災において互いに対話し、柔軟に判断することの重要性を学びます。授業では、生徒の関心に応じて、次の3つの事例をお選びいただけます。①水害時の避難判断の事例(例:水害時、高齢の家族がいる中で避難すべきかどうか?)、②災害直後の避難所運営の事例(例:物資が足りなくても避難所で配り始めるか?)、③コロナ禍の事業者の事例(例:お店が潰れそうでも営業自粛に協力すべきか?)。※希望があれば地域に応じた事例を、事前に(ご一緒に)考えることも可能です。

- 受講人数の目安: 5名～(制限なし)
- 所要時間の目安: 20分～(※授業に合わせて長くすることはいくらでも可能です)
- 高校でご準備いただきたいもの: プロジェクター、スクリーン、(可能ならカラー印刷※5名につきA4 1枚程度)